



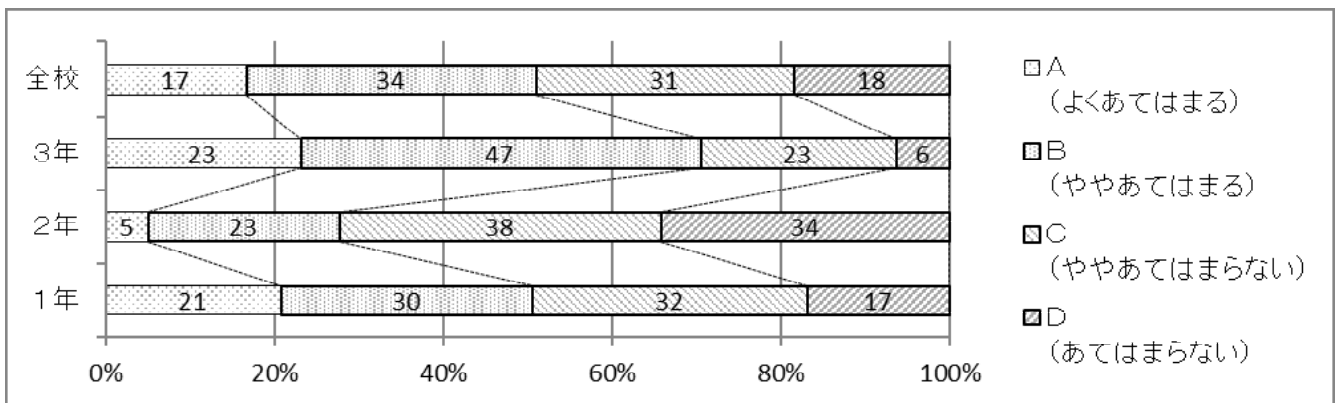
1学期が終わりました。有効な夏休みにしてください！

1学期に予定していた活動や行事は、予定通りに行うことができました。これからの長い夏休みを、健康に有意義に過ごしてください。

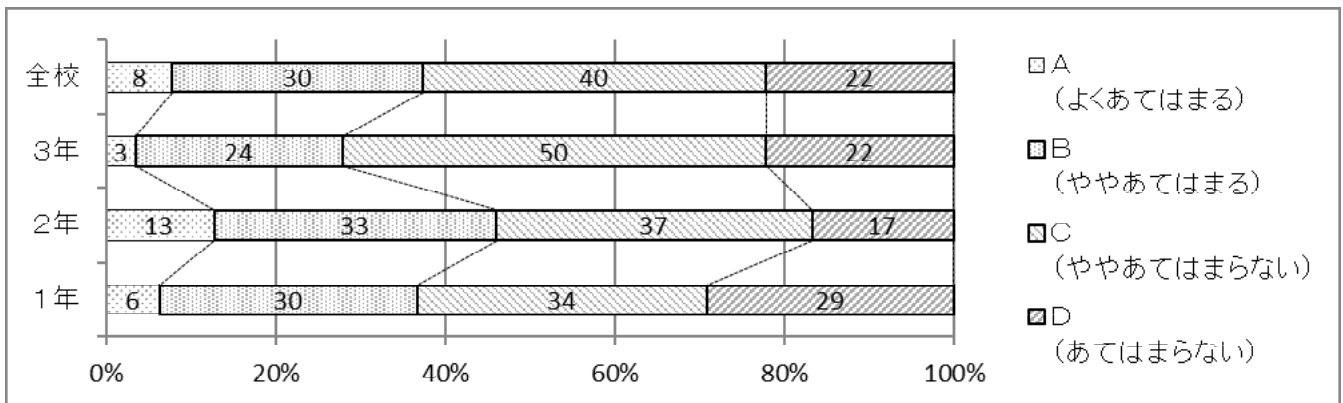
1学期末の生徒アンケートで、家庭学習に関わる結果について書かせていただきます。

問：平日2時間以上、休日4時間以上、家庭学習に取り組んでいる。(本年度と昨年度の比較)

◎本年度

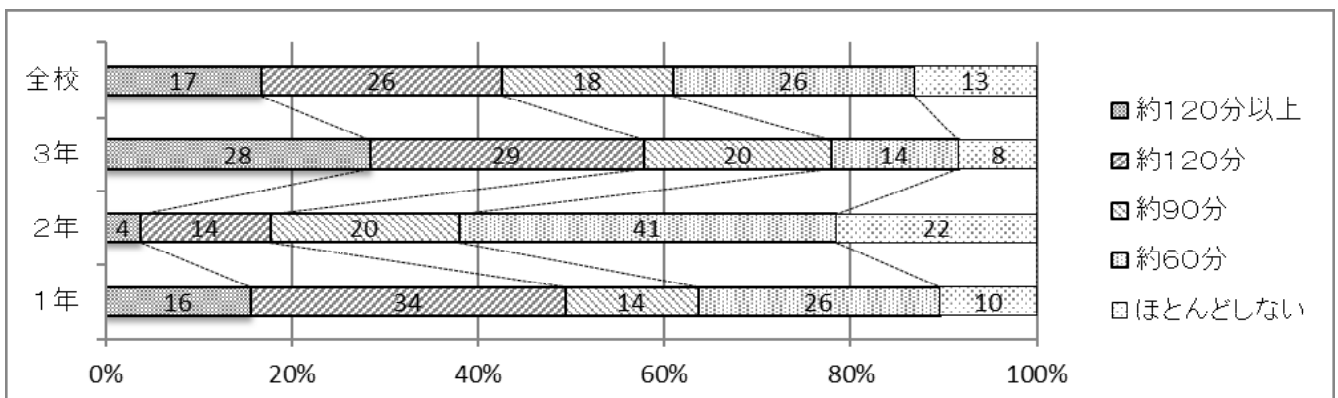


○昨年度

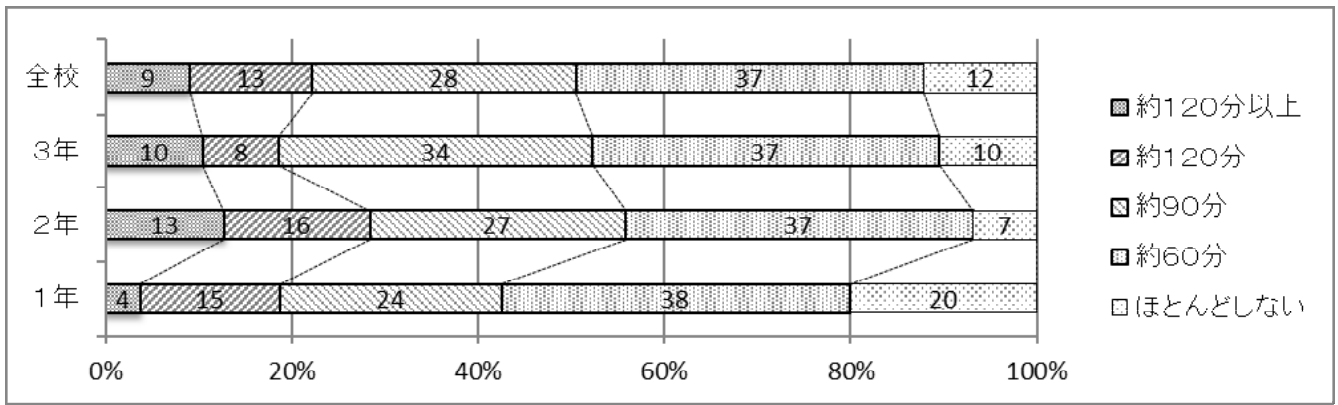


問：○平日の家庭学習の時間(塾や習い事を含みます)(本年度と昨年度の比較)

◎本年度



○ 昨年度



昨年度の全国学力学習状況調査では、平日の家庭学習時間は中学3年生の全国平均で、「約35%の生徒が平日に2時間以上行っている」ことが示されています。本校3年生は、「2時間程度と2時間以上をたした割合」は57%で、全国より約20%上回っています。2年生は、昨年度の1年生時に比べてほとんど改善がみられません。1年生は「2時間程度と2時間以上をたした割合」は50%で、中学3年生の全国平均より15%上回っています。

皆さんは、授業でいったん分かって、家庭学習で「できる」にしておかないと、時間が経って忘れてしまったり、テストで類似問題が解けなかったりという経験をしたことがあると思います。特に英語や数学は一旦分からなくなると、分からなくなったことを分かるように取り組んでいる間に、授業がどんどん進んでしまい、分からないことが増えてきて、やる気までなくなってしまうということがよくあります。

今日学習したことを、家に帰って復習したり、類題の問題を解くことは、「分かった」ことを「できる」ようにする一番の方法です。この習慣を早くに身につけた人は、時間を一番有効に使える人です。いったん「分かった」ことを忘れてもう一度「分かる」ようにする時間は無駄な時間です。

何かを覚えたいときは、「反復学習」が有効です。例えば、英語の単語を覚えたいなら、今日、何回か紙に書いて覚えます。翌日覚えているか確認します。心配ならその翌日も確認します。このようにして覚えていくと、ずっと覚えていられる割合が増えていきます。

数学の計算問題は、考える時間を決めて解きます。一定時間で解けなかったら答えを見て解けるようにします。そして問題集に印を付けます。翌日に昨日間違えた問題が解けるか確認します。もし解けなかったらその翌日も繰り返します。これが「反復学習」です。

家庭学習を途中で止めてしまう人に多く見られるのが、「英語の単語を覚えようとして単語カードは作るが、それを使って覚えることをしない。」「問題集をするが、解けないのにいつまでも時間を費やし途中で諦めて止めてしまう。」または、「問題集で解けない問題を見つけられたのに、その問題を解けるようにしない。」ということです。また、テスト勉強はしたのに、結果に繋がらない場合によくあるのが、「自分で要点をまとめた参考書のようなノートを作成する。」ことです。この方法は費やす時間の割に、効率が悪いです。

勉強をしようと思えばやり続けられることは、そのことが学力であると思います。実際に勉強をやり始めると、いろんな事が分かってきます。時間が足りなくなり、自分に適した効率のよい勉強方法が見つかります。この夏休みを、もう一度分かり直して、できるようにする期間としてください。

夏休み中の学校閉校日のお知らせ

伊賀市の全公立小中学校で、8月10日(木)～16日(水)を閉校日とします。

お急ぎの場合は、下記の連絡先にお電話をお願いします。

【連絡先】伊賀市教育委員会学校教育課 電話:0595-22-9649